

# 葬祭経営・現場の業務効率化を図る 葬祭事業者向け包括ソリューション

(株)ユニコーン [大阪市中央区]

## ■葬祭支援システム ■「FNシリーズ」

パッケージソフトウェアの創出や業務システムの受託開発を手がける(株)ユニコーン(本社大阪市中央区、社長中野恵司氏)は、1992年4月の創業以来、婚礼・宴集会の業務支援システムを軸に、購買原価管理、レストラン向け顧客管理システムを開発し、大手都市型ホテルや結婚式場などに多くの導入実績をもつ。こうしたシティホテル結婚式場の婚礼・宴集会業務で培ったノウハウを活用し同社では、葬祭業務支援システムの開発に乗り出した。この実績が導入決定のポイントの1つにもなっている。

まず、葬祭業務を支援する基幹システム「FN Pro」。これは、施行・手配管理、売上・回収管理といった基本的な機能に加え、次なる営業展開、経営戦略に役立つ集計分析機能を搭載する。

次に、葬祭打合せ支援システム「FN Mobile」。こちらは、葬祭スタッフが打合せで喪家に伺ったときなどに、祭壇や棺などの葬具の写真をタッチパネルで見せ、確認し施行プランをつくったり、その場で見積書や日程表を印刷することも可能。

このFN Mobileに入力した情報

は、ボタン1つでFN Proに転送でき、両システムが連動することで、葬祭事業者の業務を網羅的に支援する。

## ■複数拠点の情報を一括管理 ■事務処理業務の負荷を軽減

長野県東信・北信地方を主要商圏に冠婚葬祭事業を展開する互助会、信州玉姫殿グループの葬祭部門(株)信州さがみ典礼は、エリア内に6支店を構える。

同社では、2000年に業務支援システムを導入したが、同システムは支店単位のスタンドアローンで構築されていたため、各支店のデータベースを1つのサーバーに集約し、ネットワーク対応をするなど、利便性を向上させる工夫をしながら運用してきた。

しかし、基本的には支店ごとにデータを管理する仕組みのため、全店集計に手間がかかることが大きな課題となっていた。商品名などの入力項目も、支店ごとに異なったり、長年使用している間に発注書などにアレンジが加わってしまうなど、集計の前提となる統一様式という点でも、問題が生じていた。さらに、本部への報告書類が出力できない、葬儀打合せで書類やノートに記載した情報を、事務所に戻って入力するために残業を余儀なくされるなど、スタッフ



信州玉姫殿グループ  
総務部 課長  
鈴木康泰氏

の作業負担も大きかった。

業務効率化の観点から同社では、FN Pro、FN Mobileの導入を決め、今年2月から本格稼動させた。

「拠点管理ができるこ、全店集計ができることが絶対条件でした」と信州玉姫殿グループ総務部課長鈴木康泰氏。FN Proは、1つのデータベースで全支店のデータを一括管理するため、全店集計が可能。各種レポート出力機能も備えており、本部への報告書類の作成時間も大幅に短縮することができる。同社では危機管理および個人情報を扱うため、セキュリティは重要視しており、データセンターを利用している。同システムは、ログインする利用者ごとに、利用できるシステムの範囲や機能を設定(アクセス権限)でき、「いつ、誰が、どのような操作をしたか」という記録(ログ)を残せるのも魅力だった。

「見落としがちのが、供物・供花の情報です。葬祭業は地域密着型ですから、同じ方からご注文を受けることも少なくありません。供物・供花の注文者もデータ



喪家との打合せではタブレットPCを持参し、「FN Mobile」を操作しながら葬儀プランづくりを進めている。モバイルプリンタから、その場で「見積書」「日程表」などを発行することが可能

ベース化できるので、都度入力する必要もなく、ケアレスミスも防ぐことができます」と鈴木課長は語る。

FN Mobileは、Windows8を搭載するタブレットPCで使用することから、画面タッチとキーボードの両方で操作をすることができる。喪家との打合せでは単体で使用し、そこで入力した情報は事務所に戻ってFN Proに転送するだけという手軽さだ。タッチペンによる手書き入力もできるので、ノートにメモをとる感覚で使用できる。

同社では、FN Mobile導入とともに6支店の35人のスタッフに、マイクロソフトのタブレットPC「Surface」を持たせている。

### ニーズに合わせカスタマイズ 万全のサポート体制を構築

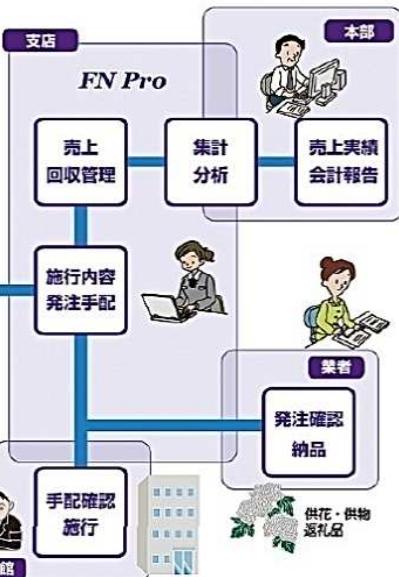
信州さがみ典礼では、昨年12月にテスト運用を開始。今年1月から旧システムとの並行運用をはじめ、2月から完全にFN ProとFN Mobileに切り替えた。

鈴木課長は、「ユニコーンさんには、当社の運用に合わせてデータベースやレポートなどのカスタマイズをしてもらったので、とても助かっています。打合せ後

のExcelでの発注書等の作成が不要になり、レポートも手間なく出力できるようになって、業務効率が大幅に向上しました。帳票がExcelの形式で出力され、電子帳票システムへの出力がスムーズになり、ペーパーレス化も進んでいます」と手ごたえを語る。

同社が別途運用している会計システムとは、FN Proから仕訳データを出力して受け渡すことで連携させている。「ユニコーンさんは財務系のシステムも手がけていることから、会計業務のノウハウにも長けているので安心でした」と鈴木課長。

サポートは、9時から21時まで365日体制で、ユニコーン本社からリモートで迅速に対応する。システムのバージョンアップなどは、PC起動時に自動的に最新のプログラムを読み込む仕組みなの



FNシリーズ概念図

で、メンテナンスも容易だ。

ただ、いまのところ互助会会員システムとは連動しておらず、会員データを、夜間に毎日、一括してFN Proに送信することで連携をとっている。タイミングによっては、データ更新後に必要書類の再作成が必要となることがあるほか、施行後に会員システムに施行記録を入力しなければならない。

鈴木課長は、「将来的には会員システムともリアルタイムに連動するようにしたい。そうすれば、もっと効率が上がると思います」と、さらなるシステム向上への意欲をみせる。

### ■株ユニコーン 問合せ先

所在地／大阪市中央区大手通1-1-2  
担当／佐々木・楠原  
連絡先／06-6943-4560  
<http://www.atlantis21.co.jp/>